

令和5年度
自己点検・自己評価 報告書

学校法人阪和学園
錦秀会看護専門学校

1. 教育理念・目的・目標

1) 学校の教育理念・目的・目標の設定

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)教育理念は明文化している。	○		
(2)学校独自の教育理念を持っている。	○		
(3)教育理念・目的・目標は人材育成の内容と一致している。	○		

2) 教育理念・目的・目標の達成

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)教職員は教育理念・目的・目標を認識し、共有している。		○	
(5)教職員は教育理念・目的・目標に向けて努力している。		○	
(6)教育理念・目的・目標は学生に浸透している。		○	

3) 教育理念・目的・目標の点検、見直し

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(7)教育理念・目的・目標と教育課程の考え方が一貫している。	○		
(8)社会変化、ニーズに対応して見直している。		○	
(9)教育理念・目的・目標は年一回見直している。	○		

4) 学校の将来構想の明確化

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10)学校の将来構想は示されている。	○		
(11)学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられている。	○		

「1. 教育理念・目的・目標」に対する概要と今後の課題

本校独自の教育理念「やさしく生命をまもる」は、教職員とも共有し、その教育目的が達成できるように日々努力している。今後は、年1回の見直しを充実させ、より細分化した目標を立案・実施していく必要がある。准看護学科が令和8年3月に閉科するため、それ以降は改めて見直しが必要である。

2. 学生の受入れ

1) 学生募集の方法

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)学校の教育理念・目的・目標を反映した学生募集方針を定めている。	○		
(2)入学定員を明示している。	○		
(3)総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人選抜・一般選抜入試制度の有無は明記している。	○		
(4)社会人選抜入学制度を取り入れている。	○		

2) 入学者選抜方法

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5) 入学者選抜の方法は明示している。	○		
(6) 合格基準は明確にしている。	○		
(7) 転入学の方法・基準を明文化している。	○		

3) 学生募集の広報

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8) 学生募集要項を作成し、看護の情報を提供している。	○		
(9) 志願者が関心を持つように工夫されている。	○		

4) 学生定員の質・量的充実状況

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10) 在學生は定員の95%以上を満たしている。		○	
(11) 入学試験の応募状況は定員の1.5倍以上である。		○	
(12) 合格者からの入学率は90%以上である。	○		
(13) 学校推薦型選抜入試の入學生は定員の60%以内である。	○		

5) 学生募集に関する分析・評価体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(14) 広報委員会が定期的開催されている。		○	
(15) 志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている。	○		
(16) 多様な選抜方法と学生の状況について検討している。	○		

「2. 学生の受入れ」に対する概要と今後の課題

少子化と看護大学への入学者数増加に伴い、全国的に看護専門学校の入学生確保は厳しい状況である。加えて本校は、大阪市内や府北部からのアクセスに時間がかかるデメリットがある。今年度は高校2年生を対象に3月にオープンキャンパスを開催し、受験者の確保のための取り組みを行っている。今後はより選ばれる学校を目指すために、国家試験対策をはじめとする、新たなツールを導入するとともに、これまでに蓄積されたデータを分析し、市場の変化に瞬時に対応し、他校に出遅れることがないようにしていかなければならない。また、卒業生が社会で活躍することが本校の宣伝になるので、就職活動にもより一層注力する。

3. 学生生活への支援

1) 健康管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 定期的に健康診断を実施している。	○		
(2) 学生が日常生活の健康管理ができるよう指導している。	○		
(3) 臨地実習での感染防止の対策をとっている。	○		
(4) 健康記録は的確に記載し、活用している。		○	

2) 学生相談室、進路相談室の設置と対応

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5) 学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している。		○	
(6) 学生相談の内容によって担当を決めている。	○		
(7) プライバシーが保持されるシステムができている。	○		
(8) 学生相談の専任のカウンセラーを置いている。	○		

3) ボランティアの支援体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(9) ボランティア活動の支援体制ができている。		○	

4) 学生委員会活動への支援

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10) 学生委員会活動で使用できる部屋がある。	○		
(11) 学生委員会活動が円滑にいくために助言・指導している。		○	
(12) 他学年と交流の機会をもっている。		○	

5) 福利厚生

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(13) 奨学金制度について学生に周知している。	○		
(14) 学生寄宿舎を有し、管理責任者を置いている。			○
(15) 学生は傷害保険に加入している。	○		

「3. 学生生活への支援」に対する概要と今後の課題

本校では、毎年2月に「学生生活アンケート」を実施し、全学生の声を吸い上げている。学生からの声は、自己点検自己評価委員会で検討し、改善するように努力している。また、健康管理については健康管理規定に基づき実施している。心の健康を守るために、カウンセラーやSNSによる相談体制も充実させた。学生委員会活動は、学生が主体となって実施することがほとんどなかったため、学生の自主性を引き出す関わりが必要である。本校では、各種奨学金の貸与を受けている学生が多い。今後も、心身の健康を保ちながら金銭的な心配もなく学業に専念できる環境づくりが求められる。

4. 教育課程

1) カリキュラムの立案

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 教育理念・目標にあった科目設定をしている。	○		
(2) 教育科目設定には学校の特色を盛り込んでいる。	○		
(3) 科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している。	○		
(4) 指定規則に合致した科目・単位を設定している。	○		

2) カリキュラムの効果的編成

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5)教育理念・目標にあった順序性で配列している。		○	
(6)科目の位置づけと科目間の関連性を明示している。		○	
(7)臨地実習目標は明確で、効果的に計画されている。		○	

3) カリキュラムの点検・見直し

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)カリキュラムの見直しは、定期的（年1回）に行っている。		○	
(9)臨地実習の計画・指導は効果的であることを定期的に見直している。	○		
(10)カリキュラムの見直しは学生・講師の意見を定期的に反映している。		○	

「4. 教育課程」に対する概要と今後の課題

新カリキュラムが施行され、2年が経過した。新カリキュラムのポイントである地域・在宅看護について、本校では「地域連携」を發揮できるアクティブエイジング実習とヘルスプロモーション実習を組んでいる。その準備も整った1年であった。次年度は、その評価の年となる。

「やさしく生命をまもる」ことができる学生を育成するために、講義・演習・実習が効果的に編成されているか、見直しが必要である。

5. 教育活動・教育指導のあり方

1) 学習支援（ガイダンス）

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている。	○		
(2)学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している。		○	
(3)シラバスが作成され活用について学生に説明している。	○		

2) 授業の計画的遂行・調整

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)授業計画に基づいて授業は実施している。		○	
(5)時間割の進度は、授業計画通りに行われている。		○	
(6)科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している。		○	
(7)必要に応じてオンラインでの授業が行われている。	○		

3) 授業科目の担当および時間

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)科目を担当する教員（専任・非常勤）は専門分野についての専門家が担当している。	○		
(9)教員一人当たりの週授業時間数は15時間以内である。	○		
(10)教員の実習担当時間数は3時間ごとに1時間程度の準備時間が見込まれている。		○	
(11)教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である。			○

4) 教育の工夫・研究

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(12)授業内容は精選され、学生のレディネスに沿って構成されている。		○	
(13)学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている。		○	
(14)視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている。		○	
(15)効果的な教育方法について、検討の場を持っている。		○	
(16)教育において日常的に教材研究を行っている。		○	

5) 授業評価

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(17)教員は授業終了時に、学生による評価を実施している。	○		
(18)学生による評価は評価表を作成し行っている。	○		
(19)教員自身による自己評価を実施している。		○	

6) 単位互換

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(20)大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である。	○		
(21)大学（短大）卒の入学生に単位の認定制をとっている。	○		

7) 成績評価・単位認定

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(22)評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。	○		
(23)授業科目毎に評価者と単位認定を明示している。	○		
(24)追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている。	○		
(25)進級・進度の基準を明示している。	○		
(26)履修認定会議・卒業判定会議は定期的に開催している。	○		

「5. 教育活動・教育指導のあり方」に対する概要と今後の課題

新入生には入学時ガイダンスを実施している。また、在校生に対しては進級の都度 HR を活用し学生便覧の説明と成績表の配布を行っている。教員は、学生が自ら学び単位を修得していけるように工夫してかわり、指導が必要な学生については早期に相談・面接などの対応を取っている。成績評価・単位認定については学生便覧に明記されているので、学生と共に履修状況を把握できる。教員は自らの資質向上のために、授業アンケートを実施し、結果を次の授業内容に反映させている。今後は、外部講師の選定にも学生による授業アンケート結果を大いに活用し、より精選された授業内容にしていく必要がある。

6. 実習指導体制

1) 実習施設の要件

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)実習施設は実習場としての施設設備が整っている(カンファレンス、更衣室等)。	○		

(2) 実習施設は実習に必要な図書が整備されている。	○		
(3) 実習施設は基本的看護に必要な看護用具が整備されている。	○		
(4) 実習施設は看護基準、看護手順を作成している。	○		
(5) 1看護単位の実習生受入れは10名以内である。	○		

2) 実習場の開発

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(6) 実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している。	○		
(7) 実習施設は実習目的を果たすため適切・妥当であるか定期的に見直している。	○		

3) 実習指導者の能力開発

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8) 実習指導者に対して現任教育を計画的に実施している。		○	
(9) 実習指導者は自主的に研究会を実施している。		○	
(10) 実習指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできている。	○		
(11) 実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある。	○		

4) 実習指導体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(12) 実習要綱は各看護学毎に作成している。	○		
(13) 実習指導者会議は定期的を開催している。	○		
(14) 実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位に2名以上配置されている。	○		
(15) 実習指導者は実習要綱を元に指導計画を立案・実施・評価している。	○		
(16) 実習指導員と教員は、役割分担を明確にして指導している。		○	
(17) 実習評価は実習指導責任者が作成している。	○		

「6. 実習指導体制」に対する概要と今後の課題

実習施設ごとに違いはあるが、それぞれ受け入れ基準を満たした施設で実習ができている。また、グループである医療法人錦秀会の各医療施設をはじめ、大阪南医療センターなどさまざまな臨床で学ぶことができるので、学生にとってメリットが大きい。各実習施設との調整は、副学科長(実習調整)が窓口となり臨床と定期的な会議を設けて学生の目標達成度・臨地実習指導体制についてタイムリーな意見交換ができている。今後は、実習施設の意向も聞きながら学校側として、実習指導者に対する現任教育で協力していく。

7. 研究・研修活動

1) 教員の研究活動

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる。		○	
(2) 教員は研究活動の校外研修日を月1日以上、確保している。	○		

(3) 教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる。		○	
--------------------------------------	--	---	--

2) 研究成果の発表

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4) 教員は研究成果を過去2年以内に公表している。			○

(自己評価内容)

(4) 研修の都度レポートを提出しているが、昨年に続いて発表には至っていない。

3) 研修活動への積極的参加と教員の活動

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5) 教員は年1回以上、自主的に研修に参加している。	○		
(6) 教員は、専門領域の臨地実習、研修を担当している。	○		
(7) 教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている。	○		
(8) 教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している。		○	

「7. 研究・研修活動」に対する概要と今後の課題

教員各自が研修に参加し自己研鑽につとめている。しかし、自らが研究し発表することはできていない。日々の授業や指導に探求心を持って業務に取り組み、自らの教育研究成果を公表し、広く社会に貢献する必要がある。

8. 組織管理・運営

1) 学校の組織と関連組織の整備

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができている。	○		
(2) 教員組織と事務組織は適正に連携している。	○		
(3) 教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている。		○	
(4) 事務組織は運営に必要な人数が配置されている。		○	
(5) 各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている。		○	
(6) 教員の人事について副学校長・学科長は意見を具申している。	○		
(7) 教員の将来方針を把握し、助言している。	○		

2) 教師・実習者の要件

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8) 講師の資格要件を取得できるようにしている。	○		
(9) 非常勤講師は資格要件をもとに選考している。	○		
(10) 実習指導者の資格要件を取得している。	○		

3) 教員人事の適正配置

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(11)教員は看護学の専門領域毎に配置されている。	○		
(12)副学校長は専任で配置されている。	○		
(13)教務主任は専任で配置されている。	○		
(14)実習調整者は専任で配置されている。	○		

4) 職員の職務分掌

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(15)職務分掌は作成している。	○		
(16)学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(17)副学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(18)事務長・事務長補佐は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(19)教務主任・実習調整者は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(20)教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(21)事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		

5) 会議への参加運営

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(22)副学校長は運営委員会に出席し、必要時意見を述べている。	○		
(23)副学校長は学校運営会議に出席し、必要時意見を述べている。	○		
(24)学校運営会議は定期的開催している。	○		
(25)教員・カリキュラム会議は定期的開催している。	○		
(26)講師会議は定期的開催している。		○	

6) 学籍の管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(27)学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている。	○		
(28)学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている。	○		

「8. 組織管理・運営」に対する概要と今後の課題

教職員は、資格要件を満たした要員を確保し、業務分掌に則り、組織の一員としての役割を果たしている。しかし、欠員が補充されないために業務量が増えることがあった。職場環境改善のために、ハラスメント防止に取り組み、アンケート調査や啓発研修などを積極的に行った。各々が「やさしく生命をまもる」という教育理念のもと、組織図にある指示命令系統に沿って業務にあたっているが、教職員一人ひとりの声が反映された組織作りになっているか、正しいガバナンスが構成されているかなど第三者評価を強化していく必要がある。

9. 施設設備

1) 校舎の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) クラス数に見合った普通教室を持っている。	○		
(2) 看護学別に演習できるような実習室の配置(物品等)がされている。	○		
(3) グループ討議等ができるゼミ室を有している。	○		
(4) WiFi 環境は整っている。	○		
(5) コンピュータ室を有している。	○		
(6) 専用の図書室を有している。	○		
(7) 体育館または講堂を有している。	○		
(8) 校内施設利用規程は作成している。	○		
(9) 施設利用規程には学生の自己学習に使用できるよう配置している。	○		

2) 学生支援施設の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10) 専用の保健室がある。	○		
(11) 学生相談室が設置されている。		○	
(12) 自習室の整備ができている。	○		
(13) 学生用トイレ、更衣室がある。	○		
(14) 学生ホールは交流の場として活用している。	○		
(15) 学生ホールは整備され、憩いの場作りができている。	○		

3) 図書室の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(16) 図書室および資料は分野ごと、領域毎に分類され整理されている。	○		
(17) 蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である。	○		
(18) 専門分野は専門領域毎に計画的に増補している。	○		
(19) 学術雑誌は指定基準以上の種類を有している。	○		
(20) 視聴覚機器が整備されている。	○		
(21) 図書と学術雑誌およびビデオ・DVD等の整備点検はできている。	○		
(22) 司書を配置している。	○		
(23) 学生が利用しやすい時間帯に開室している。	○		
(24) 新刊図書の紹介をしている。	○		
(25) 必要な図書整備の予算計画ができている。	○		
(26) 文献検索のためのインターネットの設備がある。	○		

4) 教材の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(27) 教材教具は定期的に点検を行っている。	○		
(28) 専門領域毎に教育内容に合った教材を増備している。	○		

(29)機械・器具、標本、模型は学生数に見合っ十分な数を整備している。	○		
(30)ビデオ・DVD等、視聴覚教材は自己学習に使用できる。	○		
(31)教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。	○		

「9. 施設設備」に対する概要と今後の課題

各教室、学習支援施設、図書室は整備し、維持されている。耐用年数を迎えるため、2月に校舎の屋根部分の全面塗装工事を行った。学生相談室に関しては開催時間が限られており利用者が多くない。インターネット相談室利用を検討したが、コストがかかり過ぎるため現状維持となった。令和6年度からはGoogleクラスルームを活用することが決定しているため、高速回線を配備し快適なWi-Fi環境を維持する予定。

10. 社会への貢献

1) 地域社会との連携と社会への啓蒙

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)看護教育および看護の情報を公開し、広報活動を行っている。	○		
(2)学校行事は地域社会を考慮して教育計画に位置づけている。		○	
(3)地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である。		○	

2) 近隣関連施設との連携

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)近隣施設へのボランティア活動に積極的に参加している。		○	
(5)社会人および近隣施設の生涯教育の場として学校を開放している。		○	
(6)近隣関連施設との情報交換および連携システムができている。		○	

(自己評価内容)

(4) 新型コロナウイルス感染症対策下のため、募金活動に変更し実施している。

「10. 社会への貢献」に対する概要と今後の課題

今年度まではコロナ禍のため、学校行事も縮小型での実施となった。次年度以降は、スポーツ大会の再開が予定されているため、地域住民との交流が見込まれる。さらに、地域連携の柱であるヘルスプロモーション実習・アクティブエイジング実習が始まるので、学びの場・交流の場としての社会貢献が期待できる。将来的には、生涯学習の場としての学校施設の活用や、教員を派遣することにより、より地域のニーズを吸い上げやすくなり連携が深まると考えている。

11. 予算

1) 事業計画

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)学校の事業計画を立てている。	○		
(2)事業計画は学園の全体計画の中に適切に位置づけられている。	○		
(3)中・長期目標の執行計画が立てられている。		○	

2) 予算の執行

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4) 年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している。	○		
(5) 職員は収支の状況を把握している。		○	

3) 経営意識

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(6) 職員全員が経営意識を持っている。		○	
(7) 職員は歳出削減に向けて努力している。		○	

「1 1. 予算」に対する概要と今後の課題

年間の事業計画、事業予算は立案されている。令和8年3月に准看護学科の閉課が決定したが、職員全員が経費削減を意識し、次年度予算作成に取り組んだ。教職員の収支状況の把握や経営意識の保持のために、情報共有の工夫が必要である。施設だけでなく、実習備品の老朽化に伴い、修繕計画を踏まえた中長期的な予算計画の立案と計画内容の職員共有が今後の課題となる。

12. 学校評価

1) 自己点検・自己評価

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 学校自己点検・評価のシステムが作られている。		○	
(2) 自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている。	○		
(3) 自己点検・評価を定期的実施している。	○		
(4) 自己点検・評価の結果を公表している。	○		
(5) 評価を次年度に活かしている		○	

「1 2. 自己点検・自己評価」に対する概要と今後の課題

自己点検・自己評価委員会委員と各学科のリーダーが中心となり、それぞれの学科毎で評価した後、評価規程に基づき前期・後期の2回自己点検・評価を実施し、結果を取りまとめている。評価委員会及び学校ホームページにて授業・実習・生活における学生アンケート、学校評価とともに公表している。予算や施設面で例年解決できない継続課題もあるが、コロナ終息後、様々な環境変化があるため、度評価項目の見直しに関する検討が今後の課題となっている。